

山陰近畿自動車・地元希望ルート帯要望の概要

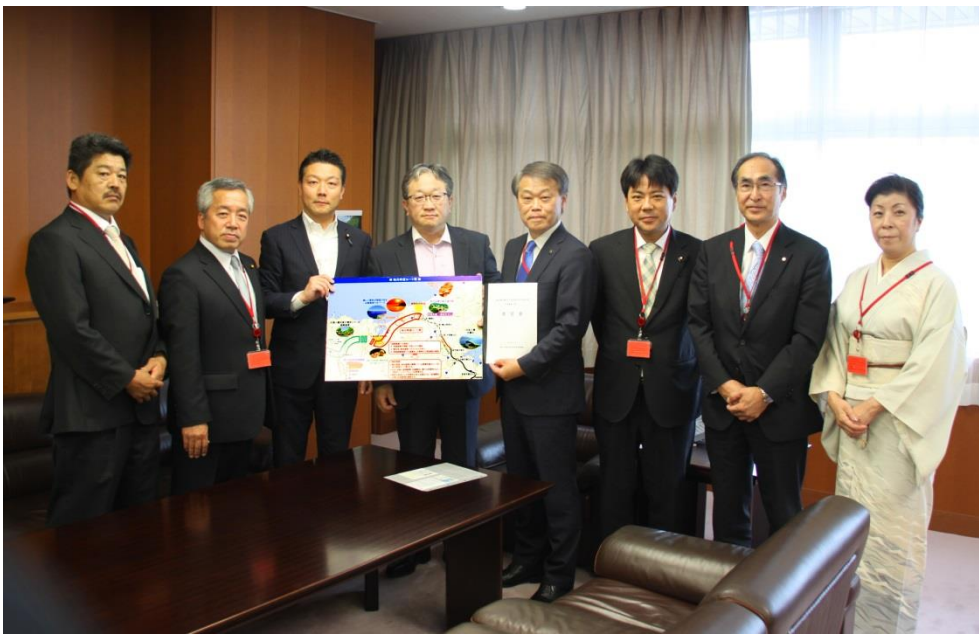
要望内容

- 一、大宮峰山道路の事業を早期かつ着実に推進すること
- 一、大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期事業化すること
- 一、兵庫県豊岡市までの区間について、**地元希望ルート帯に配慮し**、ルート決定に向けた本調査を実施すること

要望活動

日 時：令和元年6月27日（木）

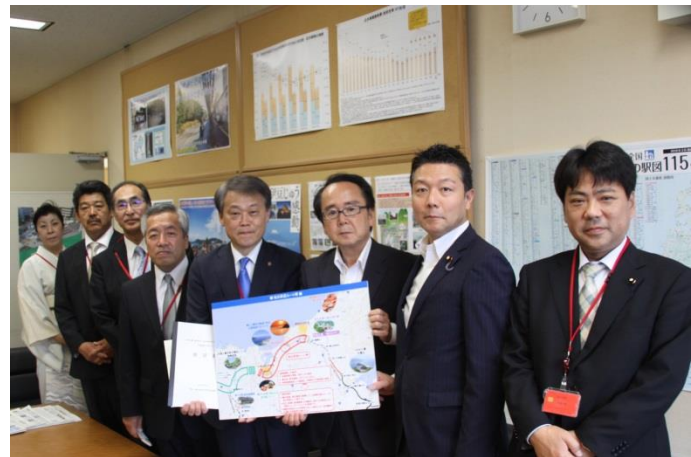
要望先：国会議員、国土交通省



国土交通省 森事務次官



国土交通省 由木審議官



国土交通省 池田道路局長

【国土交通省コメント】

- ・兵庫県とよく調整して、早くルート決定するように。
- ・地元の思いは承知した。

山陰近畿自動車道早期整備に関する要望書

山陰近畿自動車道は、京都縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道、山陰自動車道と連結し、日本海国土軸を形成する道路であり、地方創生及び国土強靱化の実現に欠かせない重要な幹線道路である。

丹後地域においては、京都縦貫自動車道的全線開通、山陰近畿自動車道の延伸により、観光客の増加や新たな企業進出など高速道路の整備による多大なストック効果が表れている。

こうした効果を更に高め、当地域の経済・産業の活性化のためには、山陰近畿自動車道の早期全線整備が不可欠である。

また、頻発・激甚化する自然災害を踏まえ、緊急輸送道路の整備は喫緊の課題であり、平常時・災害時を問わない円滑な輸送を確保するため、次の事項を早期に実現すること。

山陰近畿自動車道を重要物流道路に指定し、

- 一、大宮峰山道路の事業を早期かつ着実に推進すること
- 一、大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期事業化すること
- 一、兵庫県豊岡市までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、ルート決定に向けた本調査を実施すること

山陰近畿自動車道をはじめ、真に必要な道路整備を着実に実現するため、新たな道路財源を創設し、必要な予算額を確保すること。

令和元年6月27日

国土交通大臣 石井 啓一 様

丹後・地域高規格道路推進協議会
会長 京丹後市長 三 崎 政 直

要望先

国土交通省

国土交通大臣	石井 啓一
国土交通副大臣	牧野 たかお
国土交通副大臣	大塚 高司
国土交通大臣政務官	田中 英之
国土交通大臣政務官	阿達 雅志
国土交通事務次官	森 昌文
技監	菊池 身智雄
国土交通審議官	藤田 耕三
国土交通審議官	由木 文彦
国土交通審議官	篠原 康弘
道路局長	池田 豊人
道路局次長	榎 真一
企画課長	村山 一弥
道路経済調査室長	田村 央
国道・技術課長	東川 直正
環境安全・防災課長	野田 勝
高速道路課長	山本 巧

国会議員

参議院議員	西田 昌司
参議院議員	二之湯 智
参議院議員	足立 敏之
参議院議員	阿達 雅志
衆議院議員	田中 英之
衆議院議員	繁本 護
衆議院議員	竹内 譲
衆議院議員	本田 太郎

